

平成26年度 岡山県農林水産総合センター「森林研究所(木材加工研究室)」

試験研究課題評価票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	26-事後-1						
課題名	岡山県産構造用製材のスパン表の作成						
課題の概要	長年にわたって蓄積した岡山県産構造用製材の各種の強度データを基に、県産材の強度に関する標準的な資料集（スパン表）を作成した。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	2人	2人	1人	0人	0人	4.2
	有効性（効果）	0人	5人	0人	0人	0人	4.0
	有効性（目的以外の成果）	1人	4人	0人	0人	0人	4.2
	効率性・妥当性（費用対効果）	1人	3人	1人	0人	0人	4.0
	効率性・妥当性（計画）	2人	2人	1人	0人	0人	4.2
	成果の活用・発展性	1人	4人	0人	0人	0人	4.2
	総合評価	2人	3人	0人	0人	0人	4.4
助言・指摘事項等	<p>1 手堅くまとめられて実用上価値のあるものと思う。議論が出たようにデータの更なる有効利用も可能と思う。</p> <p>2 岡山県内の木材関係団体からの要望のもとに、岡山県産構造用製材のスパン表が作成されており、作成後のアンケート調査結果からは、スパン表を肯定的に評価する意見が多いことから、当初の研究目的を十分果たしていると考えられる。研究成果の普及も十分に行われている。</p> <p>3 アンケート結果を検討し、追加データを収集し最適な強度、スパン表を作成検討すること。</p>						

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	26-事後-2						
課題名	木材の新しい劣化診断技術の開発						
課題の概要	木製構造物や木製遊具などについて、現場で、正確に、施設を傷つけることなく腐朽被害等の劣化診断が行える、放射線（ガンマ線）や穿孔抵抗値を用いた新しい劣化診断技術を開発した。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	0人	4人	1人	0人	0人	3.8
	有効性（効果）	0人	5人	0人	0人	0人	4.0
	有効性（目的以外の成果）	1人	3人	1人	0人	0人	4.0
	効率性・妥当性（費用対効果）	1人	4人	0人	0人	0人	4.2
	効率性・妥当性（計画）	1人	3人	1人	0人	0人	4.0
	成果の活用・発展性	0人	5人	0人	0人	0人	4.0
	総合評価	0人	5人	0人	0人	0人	4.0
助言・指摘事項等	<p>1 手堅くまとめられて実用上価値のあるものと思います。議論が出たようにデータの更なる有効利用も可能かと思う。</p> <p>2 何年か前に日本のどこかで腐朽による木製遊具の事故があったが、木製遊具の腐朽劣化診断は特に子供の安心・安全から重要である。本研究は、放射線と穿孔の両手法によって木材の腐朽劣化診断ができなにかと言う基礎研究であり、研究結果から診断の可能性があることが示されている。今後はこの技術による診断によって危険予測が行われ、もし危険と判断されれば撤去できるようになると良い。岡山県内に木製遊具がいくつあるか分からないが、今後事故が起こらないように点検業務を定期的に確実に行うことが行政としての大きな課題と考える。</p>						